

# センター通信

第 158 号 2022/5/11  
(公社)品川区シルバー人材センター  
本部事務局 Tel 3450-0711

多少コロナは収まって来てはいますが、4回目のワクチン接種も検討されています。皆さん感染対策に十分にお気を付け下さい。十分な睡眠をとり体調管理に心がけましょう。

## 今年度も会員入会の強化事業を実施いたします！

令和4年度も重点課題である現会員数の維持及び会員増を進めるため、会員の入会強化事業を実施いたします。令和4年度を通じて募集事業を展開していくこととなります。内容は、これまでと同様会員の皆様の知人やご友人を、お一人紹介していただければクオカード1,000円分1枚を差し上げ、一人増えるごとに1枚お渡しいたします。年間を通じて3人以上ご紹介いただいた会員さんには来年度の定時総会で特別表彰の対象とし記念品も差し上げます。また、年度末に集計して5人以上加入に成功した地区も併せて表彰の対象となります。

皆さん！

会員入会強化事業に是非ともご参加下さい。

会員の皆さんの紹介、勧誘がセンターのこれからの事業展開を左右することに繋がります。お一人お一人が真剣に取り組んでいただければ、会員増は決して達成できない目標ではないと考えています。

ご紹介カードは、各事務所に置いてありますので、そちらをご利用下さい。



## 定時総会のお知らせ！

今年度の定時総会は、6月17日（金）、会場はきゅりあなが工事の為使用出来ず、スクエア荏原での開催になります。しかし、収容人員は400名で、未だ新型コロナウイルスの動向が見通せない状況下で、感染拡大防止を図るため、三密を避けた縮小開催とせざるを得ません。

このような形での総会開催となりますこと、会員各位のご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

5月下旬に議案書と総会通知・委任状を郵送いたしますので、委任状(自署で記入)のご提出を極力お願い申し上げます。

今回も昨年同様、委任状をご提出いただいた方にも、後日記念品を送付しますので、**各事務所までご提出いただくか、郵送(切手は不要)によるご発送をよろしくお願いいたします。**

なお、出席されても感染リスク防止のため、昨年同様当日の記念品引渡しはありません。(後日送付)

式典中止のため表彰者の方々には後日表彰状・記念品をお送りいたします。(体力測定会もなし。)

ご質問がある方は、文書にて事務所にご提出いただければ事前回答いたします。

# 連絡掲示板

4月分配分金から令和4年度会費を天引きしました。

本年度の年会費 2,500 円(会費 2,000 円・共助会費 500 円)を、令和4年4月分の配分金(5月16日 振込時)から天引きしましたので、ご確認下さい。

※すでに令和4年度分の会費を支払済の方並びに配分金が2,500円未満の方は、配分金からの天引きはありません。

## 就業相談

6月9日(木)午後1時～午後4時  
本部事務局と荏原支部で理事が相談をお受けします。

## 5月分の就業報告書提出締切日

6月2日(木) 厳守

## 配分金振込日

6月14日(火)

## 派遣給与振込日

6月24日(金)

## 5月スマートフォン教室

日時:令和4年5月25日(水)

13:30～15:00 先着2名

場所:本部事務局(北品川 3-11-16)

内容:《QRコードの読み取り方法》

※申込受付開始 5/16 9:00～

担当 本部 荒木 3450-0711

## 令和4年度の安全標語!

テーマ① 交通事故防止

最優秀作品

『気を抜くな 慣れた道でも 安全確認』

大崎地区 奈良 美代子会員

## 『熱中症に気をつけましょう』

温暖化のせいか、都内では5月から熱中症かかってしまう会員が増えています。幸いにも品川区では発生していませんが、水分補給や屋外作業の方は特にこまめに休憩を取りましょう。

## 『自転車賠償保険に加入していますか』

自転車に乗る機会があり、かつ自転車賠償保険に加入していない方は、加入が義務化されています。

品川区シルバー人材センターでは、東京都やしごと財団推奨のサイクル安心保険の申込書を事務所にて配付しています。この保険の特徴は、自動継続が可能なことです。辞める場合は連絡をして下さい。

また、品川区民であれば区民交通障害保険もあります。こちらの保険は1400円～3500円(年間)申し込みは銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫・ゆうちょ銀行・郵便局で申し込みが出来ます。受付期間は5月2日から6月30日まで、保険期間は令和4年7月1日～令和5年6月30日までとなり、自動継続が出来ないので、毎年のお申込となります。

## 『令和3年度の傷害事故の特徴』

3年間連続で傷害事故発生件数は、10件となりました。令和3年度の傷害事故の特徴は、7件が転倒によるもので、後2件が動作の反動・もう1件が転落となりました。

特に件数の多かった転倒事故はいつ・どんな場所で起こるか分かりません。日頃からつま先立ち体操等で体力をつけるとともに危険予知(KY運動)を実践し、段差などに注意を払い今年度こそ事故0を目指しましょう。